

さくらガイドブック



「さんぽ道」のさくらガイド



1. カワツザクラ(河津桜:カンヒザクラ系)

原木は静岡県河津町にあり、早咲きのさくらとして有名である。片親はカンヒザクラであるのは確実ですが、もう一方の親は不明であるが、オオシマザクラとする説もある。

駐車場東側の進入路沿いにあります。



2. カンザキオオシマザクラ(寒咲大島桜:オオシマザクラ系)

早咲きのオオシマザクラである。オオシマザクラの特徴である大輪の花弁と芳香が目立ちます。

さんぽ道北側の通路沿いにあります。



3. ツバキカンザクラ(椿寒桜:カンヒザクラ系)

カンヒザクラとシナミザクラの交雑種と推定される。ピンクの花弁はカンヒザクラの特徴が、おしべが目立つのはシナミザクラの特徴がよく現れています。

さんぽ道事務所横にあります。



4. カンヒザクラ(寒緋桜:カンヒザクラ系)

カンヒザクラは日本には自生はなく(自生するという説もある)中国大陸や台湾に自生している種です。花弁が特徴的で、学名はこの釣鐘状の花弁から *campanulata* と命名されています。

さんぽ道南側の展望デッキにあります。



5. オオカンザクラ(大寒桜:カンヒザクラ系)

花は淡紅色で直径約3cm。横に広がる枝が波打つような特徴がある。

場内各所で見るすることができます。



6. ヨウコウ(陽光:カンヒザクラ系)

大型で鮮やかなピンクの花がソメイヨシノよりも一足早くに咲くので、目立ちます。葉は花のあとに伸びます。

さんぽ道南側の展望デッキ西側にあります。



7. オオシマザクラ(大島桜:オオシマザクラ系)

伊豆大島に多いので、この名前がついています。さくら餅をつつむ葉はオオシマザクラの葉を塩漬けにしたものです。花に芳香があります。若芽は緑色で、花と同時にのびます。

レストランあかまつ北側にあります。



8. シダレザクラ(枝垂れ桜:エドヒガン系)

エドヒガン系統のさくらは萼筒が壺型に膨らむのが特徴です。シダレザクラにはベニシダレ(左写真)やヤエベニシダレなどの種類があります。内山緑地建設のシダレザクラ群は樹齢70年の大木で、これだけの樹齢の木が群生しているのは他ではなかなか見られません。

案内地図をご参照下さい。



9. ウミネコ(海猫:マメザクラ系)

マメザクラ系のさくらで、枝は横に広がらず上に伸びる性質がある。ヨーロッパで普及している栽培種で、花はやや小振りです。

さんぽ道北側の進入路沿いにあります。



10. ソメイヨシノ(染井吉野:ヤマザクラ系)

江戸後期に江戸染井村から「吉野桜」の名で広まり、明治期に「染井吉野」とされました。日本で代表的なさくらの品種です。

内山緑地本社ビル西側にあります。



11. ヤマザクラ(山桜:ヤマザクラ系)

日本に広く分布する野生のさくらです。白い花と同時に赤褐色の若芽が伸びます。

内山緑地本社ビル東側にあります。



12. タイハク(太白:サトザクラ系)

名前の通り真っ白で大きな(5~6cm)の花を着けます。とても気品のあるさくらです。

さんぽ道事務所東側にあります。



13. カンザン(関山:サトザクラ系)

サトザクラ群の代表的な種のひとつです。花は紅色、八重咲きで、ソメイヨシノのあとに咲きます。若芽は紅褐色。場内各所で見ることができます。



14. フゲンゾウ(普賢像:サトザクラ系)

普賢象とは普賢菩薩の乗っている象のこと。2本のめしべが葉化(葉のように変化すること)して長く突き出し、それが象の牙に似ているためこの名がついたと言われています。若芽は紫褐色で花と同時にのびます。

レストランあかまつ前デッキの北側にあります。

【紹介したさくらの開花時期】

開花カレンダー						
2月	3月			4月		
下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
①, ②, ③						
	④, ⑤, ⑥, ⑦					
			⑧, ⑨, ⑩, ⑪			
					⑫, ⑬, ⑭	

開花時期はあくまで目安です。